

下飯地域まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H24年度末現在）	進捗状況（H25年度末現在）	進捗状況（H26年度末現在）	進捗状況（H27年度末現在）	地区振興計画	H25当初予算	H26当初予算	H27当初予算	H28当初予算	事業完結分	
H24	1	手打	手打港待合所の利活用について	交通貿易課	<p>今年4月からの寄港地集約により、皆様の心中は十分理解できるところである。また、寄港地集約後は、航路利用者がいなくなったことにより、待合所周辺で営業される店舗などには少なからず影響があると考えている。</p> <p>そこで、市としては手打待合所を活用した地域の活性化を図るため、待合所利活用調査・検討事業を今年度実施する予定である。具体的には、専門のコンサルタントに依頼し、地域の現状、素材などの把握や地域住民の皆様との意見交換を行う検討委員会の開催により、地域の皆様方の声を吸い上げ、できるだけ地域が主体的に運営できるような施設活用策などの具体的計画を作ってまいりたい。今回、御提案いただいている観光施設、食堂、みやげ物店などの御意見も、この検討委員会の中で十分検討してまいりたいと考えているので、皆様方の御理解・御協力を願いたい。</p>	手打港旅客待合所の利活用については、平成24年度「甌島旅客待合所調査・検討業務」を実施して、アンケート調査やワークショップを行い、食事提供・物産売場として活用したいとの方針が出された。	<p>これを受けて、平成25年度は運営主体の検討を行い、地区コミュニティ協議会が運営組織をつくり、地区の各種団体等と連携して運営することとなった。</p> <p>平成26年度は、この運営組織を支援するための研修を行うとともに施設改修の準備を行うこととしている。</p>	平成25年度までの決定に沿って、平成26年度は、この運営組織の詳細の検討及び施設改修の内容検討を行い基本設計・実施設計に着手するとともに平成27年度改修を行うための補助事業申請を行った。	<p>平成26年度までの決定に添って平成27年度改修を行い、薩摩川内市手打地区活性化施設「てうちん浜屋」としてH28.4月下旬オープンを予定している。</p>	○						
H24	2	子岳	津波などのための避難道路と避難場所の確保	防災安全課	<p>片野浦の浜田地区は、片野浦湾のすぐ近くに位置し、ほとんどの住宅は標高0メートルから10メートルまでの場所に立地。10メートル規模の津波が来れば、甚大な被害が出るのが予想されているところである。東日本大震災を受けて、市としては市民の皆様を津波災害から守るため、津波看板の設置や海拔を表示した津波ハザードマップなどを配布させていただいた。</p> <p>また、津波避難場所の設定や津波避難訓練の実施についても、沿岸地区の自主防災組織を中心をお願いをしているところであり、浜田地区においては、協議していただいた結果、浜田川の対岸の高台と岡寺を津波避難場所として、設定をしていただき、配布した津波ハザードマップにも掲載した。</p> <p>実際に津波警報が発令されると、全国瞬時警報システムで直ちにお知らせし、また、津波が到達するまでにある程度の時間がかかることから、自主防災組織を中心として、災害時要援護者を介添えしていただきながら、ただちに避難していただきたいと考えている。</p> <p>まずは、現在の2箇所の津波避難場所への避難訓練実施をしていただき、避難時間やその際の問題点などを確認していただきたい。また、市では各地区で設定をされた津波避難場所への避難路について、安全に避難できるよう、例えば、階段・手摺りの設置などを順次行ってまいりたい。御要望のあった避難道路と避難場所の確保については、現在の津波避難場所や経路についての問題点などを洗い出し、関係課などと協議しながら、どのような方策を講ずれば良いか検討してまいりたい。現在、設定させていただいている避難場所の問題点の外、御要望の箇所についても、今後、支所を通じて協議させていただきたい。</p>	津波看板の設置や海拔を表示した津波ハザードマップなどを配布した。	<p>まずは、現在の2箇所の津波避難場所への避難訓練実施をしていただき、避難時間やその際の問題点などを確認していただきたい。</p> <p>また、御要望のあった避難道路と避難場所の確保については、現在の津波避難場所や経路についての問題点などを洗い出し、関係課などと協議しながら、どのような方策を講ずれば良いか支所と協働して検討したい。</p>	子岳地区の避難道路として難島活性化交付金の安全安心向上事業・防災機能強化事業として予算要求し平成26年度事業にて子岳地区の避難道路として整備する予定である。	道路敷地に係る保安林の解除を実施し、整備における設計業務委託を終了した。 <p>平成26年度予算を繰り越し、平成27年度中の事業完成の予定である。</p>	<p>旧子岳小を含め全学的な対応であるが、学校施設を避難所として指定する場合、体育館を避難場所としており、校舎を避難場所としては想定していない。御提案にあった校舎を宿泊できるように改修することは、今のところ考えていない。</p> <p>なお、避難所について、一部、環境が十分でないという状況がある。避難所の洋式トイレ化を進めたり、食糧・毛布などの備蓄品を年次的に整備するなどし、有事の際に、避難された方々が不自由することがないように、できるだけ環境を整えたい。また、平成27年度に旧子岳小体育館トイレの洋式化を行ったところである。</p>			○			
H24	3	西山	大内浦線の道路 舗装のお願い	林務水産課	<p>薩摩川内市全体で、合併後、林道の舗装率は市全体で62%であるが、甌島は約80%という状況である。</p> <p>甌島の林道については、御指摘のあったとおり、単に林業の作業道路ということだけでなく、生活用の道路、観光用の道路という機能も担っているという認識を持っている。実際は甌島地域全体を見る中で、その時々の財源が確保できたものから、具体的には、国・県の補助が取り入れられそうなものから順次、その状況をみながら実施している。下飯地域については、現在、支所と相談の上、手打地区の林道釣掛線を平成22年度から平成27年度までの予定で整備を進めている。</p> <p>今回の御要望については、地元として強い要望であるということは承ったが、このような状況である。今回の大内浦線を含めて、今後全体的な計画的整備という観点から、財源が確保されたものから、少しずつ実施したい。</p>	釣掛線の改良工事が平成27年度まで計画しているため、その後検討して参りたい。	平成27年度から計画予定									○

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H24年度末現在）	進捗状況（H25年度末現在）	進捗状況（H26年度末現在）	進捗状況（H27年度末現在）	地区振興計画	H25当初予算	H26当初予算	H27当初予算	H28当初予算	事業完了区分	
H24	4	内川内	内川内農道小屋床線の道路補修について	耕地課	当線については、集落内の生活幹線道路で、農地とその集落を繋いでいる非常に重要な道路であると承っている。急峻な地形に、内川内自体が存在しているということで、台風襲来時、大雨の時には、側溝の閉塞や路肩の破損などという状況にあると伺っている。市の方ではできるだけ、大きな被害にならないように、常日頃から、側溝の整備・浚渫、路肩の修繕など、何かあった時は、直ちに対応している状況である。これも予算の関係上、一気に、抜本的に実施することは厳しい面もあるが、支所と連携しながら、できることからさせていただきたい。										○	
H24	5	長浜	道路拡張に伴う交通量の緩和及び事故防止	建設整備課	この道路については、狭く、見通しも悪いということで、通行に大変苦勞されておられるように考える。今回、この路線については、一方側に4戸程の住宅が建っている。もう片方は長浜川となっている。これを住宅側へ拡張するとすると、関係者の方々の同意はもちろんであるが、建物などの移転補償費に多額の費用を必要とするということで、非常に厳しいと考えている。 それでは、川の方へ広げるということはどうかとなると、この長浜川については、県の砂防指定地という位置付けがある。概略ではあるが、河川側の方に拡張ができないか、県と協議を行った。砂防指定地の河川については、上流部の方から土石・竹・木などが流れてくるといって、川の方へ広げることも制約・制限があるとの話があった。現在の川の断面を狭めない嵩上げてあげれば、可能ではないかという話であった。ただ、この場合も課題がいくつかある。県と協議の中で、どれくらい嵩上げをしなければならないかということ。川の方へ広げる分だけの嵩上げをすることになると、現在の道路との段差ができて、現在の道路そのものも嵩上げをしなければならない。このような場合、現在の住宅側への影響ということもあり、技術的にどの程度まで、川へ広げられるかといった問題もある。 このような難しい課題もあるので、当然、事業化に向けては解決していかなければならないことである。そのためには、先ず調査を行い、県の方と詳細に協議を行っていきたいと考えている。このようなことを踏まえて、地区コミュニティ協議会、地元の方と話をさせていただきたいと考えている。従って、しばらく時間を要するということを御理解いただきたい。	・必要性は認識しており、今後工法検討や県との協議、財源の確保を検討したい。	・未着手	・未着手 (今後工法検討や県との協議を行いたい。)	・未着手							
H24	6	青瀬	市有地を有効活用して高齢者の生きがいづくり 市所有の市営大川住宅前のゲートボール場を無償で貸与してもらい、農園開設の費用は、提案公募型補助金を利用させていただきたい。	建築住宅課	この貸し出しを希望されている土地については、旧下飯村が大川住宅を整備する際に、地元からの要望により、住宅敷地と一体で購入して、ゲートボール場として整備をしたが、現在は、ほとんど使用されていない土地であるとのことである。住宅用地ということで、行政財産として市が管理をしている。 今後、市営住宅の増築などの計画も無いので、地元で貸し出しをするということも可能であると考えている。具体的には地区コミュニティ協議会と協議をしながら、詳細に詰めていきたいと考える。今回、貸し出すことは可能である。農園として、高齢者だけでなく幼稚園の話もされたが、次の更新の際に同じように、農地として貸し出すという話であれば、特定農地貸付法という法律の適用を受けるとのことである。農地の貸付を適正に行うための管理・運営の規定を作成し、農業委員会の承認を受けなければならないことになっているようである。詳細については、農業委員会の事務局へ御相談いただきたい。 また、提案公募型の補助金を利用されたいとのことであるが、詳細な計画などがわからないので、この内容で該当するかどうかの判断できない状況である。詳細な計画を詰められてから、市へ御相談いただきたい。	この貸し出しを希望されている土地については、今後、市営住宅の増築などの計画が無いので、地元で貸し出しをするということも可能であると考えている。 まずは地元で提案公募型の補助金申請と絡めた計画を詳細に検討いただいたのち、支所へ御相談いただきたい。										○

下飯地域まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H24年度末現在）	進捗状況（H25年度末現在）	進捗状況（H26年度末現在）	進捗状況（H27年度末現在）	地区振興計画	H25当初予算	H26当初予算	H27当初予算	H28当初予算	事業完了区分
H24	6	青瀬	市有地を有効活用して高齢者の生きがいづくり 市所有の市営大川住宅前のゲートボール場を無償で貸与してもらい、農園開設の費用は、提案公募型補助金を利用していただきたい。	コミュニティ課	この貸し出しを希望されている土地については、旧下飯村が大川住宅を整備する際に、地元からの要望により、住宅敷地と一体で購入して、ゲートボール場として整備をしたが、現在は、ほとんど使用されていない土地であるとのことである。住宅用地ということで、行政財産として市が管理をしている。 今後、市営住宅の増築などの計画も無いので、地元へ貸し出しをするということは可能であると考えている。具体的には地区コミュニティ協議会と協議をしながら、詳細に詰めていきたいと考える。今回、貸し出すことは可能である。農園として、高齢者だけでなく幼稚園の話もされたが、次の更新の際に同じように、農地として貸し出すという話であれば、特定農地貸付法という法律の適用を受けるとのことである。農地の貸付を適正に行うための管理・運営の規定を作成し、農業委員会の承認を受けなければならないことになっているようである。詳細については、農業委員会の事務局へ御相談いただきたい。 また、提案公募型の補助金を利用されたいとのことであるが、詳細な計画などがわからないので、この内容で該当するかどうかの判断できない状況である。詳細な計画を詰められてから、市へ御相談いただきたい。	提案公募型補助金については、平成25年度から市民活動支援補助金のステップアップコースとして、元の補助金を改めて新制度して導入することになった。地元で計画が具体化し、実際に申請される時点で、計画の内容等詳細については当課に相談いただきたい。									○
H24	7	鹿島	コミュニティ運行路線の見直しについて	商工振興課	現在、長浜・鹿島線の長浜港19時10分発の便については、芦浜集落を經由し、鹿島港へ19時39分に到着するように運行をしている。この便について、芦浜で降りる乗客がいない場合に限り、芦浜を經由しない条件付き運行は可能である。 しかしながら、このことは、同時に芦浜からの乗車ができなくなることになる。そのようなことであるので、芦浜から鹿島港への乗車が殆ど無く、影響がないということで、芦浜自治会の御理解が得られれば、可能であると考えている。 なお、今年4月に運行を開始した飯島地域のコミュニティバスについては、今年上半期の利用実態を検証し、下半期に運行路線の見直し・検討を行い、来年4月を目途に路線などの変更を行うこととしている。今後、鹿島地区コミュニティ協議会及び芦浜自治会と十分調整をさせていただきたいと考えている。	長浜・鹿島線の長浜港19時10分発の便については、御要望のとおり、平成25年7月から芦浜バス停で降りる乗客がいない場合に限り、芦浜を經由しないで、直接、鹿島港へ行く条件付き運行に変更予定である。	長浜・鹿島線の長浜港19時10分発の便については、御要望のとおり、平成25年7月から芦浜バス停で降りる乗客がいない場合に限り、芦浜を經由しないで、直接、鹿島港へ行く条件付き運行に変更した。				○				○
H27	1	手打	大泊墓地公園の整備について（当地区を地区住民が憩う公園として整備したい。可能性調査をお願いしたい。）	建設整備課	この公園については、市条例に登録されている公園でないで、市が管理する公園ではない。土地の所有者を調査したところ、民有地と一部国有地であった。今のところ、市が直接対応することは難しい。国有地の部分について、何とか進めてほしいとのことであった。今後、管理者である財務事務所と協議をしながら、市で対応できないかということも含めて進めていきたい。										・未着手 コミュニティマスター事業で検討を行ったが、民有地があり事業導入までには、至らなかった。
H27	1	手打	大泊墓地公園の整備について（小規模のコンクリート張りなどを行い、キャンプ地としても整備したい。）	建設整備課	また、コミュニティマスター事業もあるので、この事業の活用は可能であると思う。場所的にも非常に良い場所であり、眺めも良い。これまでも桜・松・シャリンバイ等を植えられて管理もされている。再度、整備手法等について再検討し、一緒になって進めさせていただきたい。										・未着手 コミュニティマスター事業で検討を行ったが、民有地があり事業導入までには、至らなかった。
H27	1	手打	大泊墓地公園の整備について（小規模のコンクリート張りなどを行い、キャンプ地としても整備したい。）	コミュニティ課	また、コミュニティマスター事業もあるので、この事業の活用は可能であると思う。場所的にも非常に良い場所であり、眺めも良い。これまでも桜・松・シャリンバイ等を植えられて管理もされている。再度、整備手法等について再検討し、一緒になって進めさせていただきたい。										平成28年度にコミュニティマスター事業で実施予定

下飯地域まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H24年度末現在）	進捗状況（H25年度末現在）	進捗状況（H26年度末現在）	進捗状況（H27年度末現在）	地区振興計画	H25当初予算	H26当初予算	H27当初予算	H28当初予算	事業完了区分	
H27	1	手打	大泊墓地公園の整備について（公園整備事業として採用できないか検討願いたい。）	建設整備課	キャンプ場については、現在、下飯地域には3箇所ある。今後、国定公園になったことや蘭牟田瀬戸架橋の完成によっても、観光客の入り具合等も含めれば、キャンプ場の活用方法もできると思う。同墓地公園については、土地の権利関係、コミュニティマイスター事業の活用等を含めて検討しながら進めさせていただきたい。											
H27	1	手打	大泊墓地公園の整備について（公園整備事業として採用できないか検討願いたい。）	コミュニティ課	キャンプ場については、現在、下飯地域には3箇所ある。今後、国定公園になったことや蘭牟田瀬戸架橋の完成によっても、観光客の入り具合等も含めれば、キャンプ場の活用方法もできると思う。同墓地公園については、土地の権利関係、コミュニティマイスター事業の活用等を含めて検討しながら進めさせていただきたい。											
H27	2	子岳	旧子岳小学校校舎等の有効活用	教育総務課	閉校した学校施設の全市域統一した考え方として、地域の活性化を最優先し、地域の要望等を尊重しながら、施設活用を目指すことを基本としている。 具体的な活用について、地区コミュニティ協議会から要望があり、計画の内容が地域の活性化・振興に活かされる場合は、市として、これを尊重し、地域への施設の無償貸付や一時的な利用を図る考えである。											
H27	2	子岳	旧子岳小学校校舎等の有効活用	財産活用推進課	閉校した学校施設の全市域統一した考え方として、地域の活性化を最優先し、地域の要望等を尊重しながら、施設活用を目指すことを基本としている。 具体的な活用について、地区コミュニティ協議会から要望があり、計画の内容が地域の活性化・振興に活かされる場合は、市として、これを尊重し、地域への施設の無償貸付や一時的な利用を図る考えである。											
H27	2	子岳	旧子岳小学校校舎等の有効活用（出張診療所としての利用）	市民健康課	片野浦地区の出張診療については、毎週木曜日の午後、保健福祉館において診療が行われている。 一方、甌島地域の医療に関しては、医師・看護師等の確保に大変苦慮してきている。このような状況から、医療従事者の確保や診療科目の充実を図るため、蘭牟田瀬戸架橋の完成を見据えた病院化など、診療所の再編も必要と考えている。 議題に旧子岳小校舎への診療所整備の提案もあるが、診療所再編と併せて検討していきたいと考える。											
H27	2	子岳	旧子岳小学校校舎等の有効活用（消防団車庫詰所としての利用）	警防課	消防団車庫詰所については、消防局では安全な市民生活の確保と消防団の方々の活動環境を向上するため、年次的な計画に基づき、整備を進めてきている。 子岳地区においても、下飯南分団片野浦部の浜地区と岡地区の車庫詰所の統合を消防局でも検討しているようである。 議題にある旧校舎を活用した改築整備等については、地元の消防団の方をはじめ、地区コミの方々や関係部局と協議・検討し、進めさせていただきたい。											
H27	2	子岳	旧子岳小学校校舎等の有効活用（避難場所としての利用）	防災安全課	旧子岳小を含め全市的な対応であるが、学校施設を避難所として指定する場合、体育館を避難場所としており、校舎を避難場所としては想定していない。御提案にあった校舎を宿泊できるように改修することは、今のところ考えていない。 なお、避難所について、一部、環境が十分でないという状況がある。避難所の洋式トイレ化を進めたり、食糧・毛布などの備蓄品を年次的に整備するなどし、有事の際に、避難された方々が不自由することがないように、できるだけ環境を整えたい。子岳小体育館ではトイレが洋式化になっていないようであるので、できるだけ早急に男女トイレの洋式化を図りたい。											

下飯地域まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H24年度末現在)	進捗状況 (H25年度末現在)	進捗状況 (H26年度末現在)	進捗状況 (H27年度末現在)	地区振興計画	H25当初予算	H26当初予算	H27当初予算	H28当初予算	事業完了区分
H27	2	子岳	旧子岳小学校校舎等の有効活用 （「甌はひとつ推進会議」での議論集約）	甌はひとつ推進室	平成29年頃の蘭牟田瀬戸架橋完成後を見据えて、甌島が今後どうあるべきなのか、甌島の住民の方々が主体となって議論してもらうために「甌はひとつ推進会議」を設置している。 会議のメンバーは、地区コミュニティ協議会会長をはじめ、青壮年代表、建設業代表等で構成し、これまで3回ほど開催している。 今回、子岳小の有効活用について、いくつかの御提案をいただいている。この議題については、推進会議の中で意見を出していただき、方向性を見出して、施設等のあり方については、議論を深めていただきたい。				「甌はひとつ推進会議」はH26年10月からH28年3月まで10回の会議を重ね、蘭牟田瀬戸架橋完成後の甌島地域のあり方について、4月に市長に提言を行ったところである。 市長への提言は、「支所」、「診療所」、「学校」について、甌島全体での視点から検討されたものであり、各地域の個別施設の検討には至らなかったところである。 市長への提言では、上記以外の施設のあり方について、「公共施設の再配置計画に基づき、総合的な視点から施設の設備等の共有による多目的な利用の可能性や効果について検討し、柔軟性を持った施設活用による多機能化を図りたい」との内容があることから、今年度以降総務部が策定する「公共施設再配置計画」に基づき、各						
H27	2	子岳	旧子岳小学校校舎等の有効活用 （農水産物の加工）	六次産業対策課	下飯町には既に官民の農産物・水産物加工施設があり、ある程度の機械・設備が整っている。 このようなことから、市において更に農産物・水産物の加工場を整備することは厳しい。 例えば、校舎活用のため、地元の方々が主体となって、その一部を農産物・水産物の加工施設として改修・整備したい等の御要望であれば、場合によっては、一定の条件の下で、何らかの支援をすることは可能ではないかと考える。 地元において具体的な事業計画等を御検討の上、御提示いただければ、その内容に沿ってどのような対応を行うことができるのか等、庁内の関係部署と協議・調整を進めたい。										
H27	2	子岳	旧子岳小学校校舎等の有効活用 （農水産物の加工）	農政課	下飯町には既に官民の農産物・水産物加工施設があり、ある程度の機械・設備が整っている。 このようなことから、市において更に農産物・水産物の加工場を整備することは厳しい。 例えば、校舎活用のため、地元の方々が主体となって、その一部を農産物・水産物の加工施設として改修・整備したい等の御要望であれば、場合によっては、一定の条件の下で、何らかの支援をすることは可能ではないかと考える。 地元において具体的な事業計画等を御検討の上、御提示いただければ、その内容に沿ってどのような対応を行うことができるのか等、庁内の関係部署と協議・調整を進めたい。				下飯地域には、すでに既存の農産物、水産物の加工施設があり、機械が整備されている。このようなことから、市において、新たに農産物、水産物の加工施設を整備することは厳しい。						
H27	2	子岳	旧子岳小学校校舎等の有効活用 （農水産物の加工）	林務水産課	下飯町には既に官民の農産物・水産物加工施設があり、ある程度の機械・設備が整っている。 このようなことから、市において更に農産物・水産物の加工場を整備することは厳しい。 例えば、校舎活用のため、地元の方々が主体となって、その一部を農産物・水産物の加工施設として改修・整備したい等の御要望であれば、場合によっては、一定の条件の下で、何らかの支援をすることは可能ではないかと考える。 地元において具体的な事業計画等を御検討の上、御提示いただければ、その内容に沿ってどのような対応を行うことができるのか等、庁内の関係部署と協議・調整を進めたい。										
H27	3	西山	林道「大内浦線」の道路脇の伐採	林務水産課	これまで、下飯地域については、林道「釣掛線」の整備を実施していたが、平成26年度で完了している。 林道「大内浦線」については、平成27～28年度において、特定離島ふるさと推進事業を活用して、整備しようと考えている。この整備工事に併せて、車輛の通行に支障を来している部分について、伐採・除草等も適宜実施したい。										

下飯地域まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H24年度末現在）	進捗状況（H25年度末現在）	進捗状況（H26年度末現在）	進捗状況（H27年度末現在）	地区振興計画	H25当初予算	H26当初予算	H27当初予算	H28当初予算	事業完了区分
H27	4	内川内	道路の伐採について	耕地課	現在、内川内地区の農道小屋床線は7月と12月の年2回の除草・伐採作業を行っている。 下飯地域では、観光バスが通る林道を含む路線では、ある程度の法面伐採も行っているが、その他の路線については、道路脇のみの除草・伐採を行っている状況である。 今後、国定公園の指定により、観光客の道路利用も増えることも予想されることから、道路パトロール等も適宜実施しながら、緊急性のある部分については、法面伐採作業を実施できるよう検討していきたい。				草作業については年に2回実施し、目づ、見通しの特に悪くなっている箇所を枝払いを1回実施した。						○
H27	5	長浜	長浜地区コミュニティセンターの建て替え	コミュニティ課	48年に建設。建替えについても、要望書もいただいている。 同センターについては、平成24年度に実施した耐震診断においても「問題なし」との結果が出ている。 また、平成26年度には大ホールの大型エアコン2台も取替えており、現在のところ新たに建設する計画はなく、車の進入が困難であるなど不自由を掛ける部分はあるが、現施設を利用していただきたい。 市内には昭和38年に建設した施設もあり、同センターを含め同様な状況にある。 建設後年数が経過している施設もあることは承知しており、今後現況を確認しながら改修等を検討していきたい。				回答と同様						
H27	6	青瀬	帽子山の公園化について	建設整備課	市の管理する公園の基本的な運営方法については、手打区の議題の回答と同様。御要望の場所は、中心に大きな桜があり、周りに雑木が林立している。自然を生かしたアスレチック等については、大変良い手法であると考え。 しかし、現在、市の管理する公園になっていないので、取りあえずは、コミュニティマイスター制度を活用しながら、支所を通して、取り組めたらと考える。当場所は区の所有になっているので、いくらかは市もお手伝いできると思う。先ずは、間伐等について、コミュニティマイスター制度の補助金等を活用されたらと考える。				・未着手						
H27	6	青瀬	帽子山の公園化について	コミュニティ課	市の管理する公園の基本的な運営方法については、手打区の議題の回答と同様。御要望の場所は、中心に大きな桜があり、周りに雑木が林立している。自然を生かしたアスレチック等については、大変良い手法であると考え。 しかし、現在、市の管理する公園になっていないので、取りあえずは、コミュニティマイスター制度を活用しながら、支所を通して、取り組めたらと考える。当場所は区の所有になっているので、いくらかは市もお手伝いできると思う。先ずは、間伐等について、コミュニティマイスター制度の補助金等を活用されたらと考える。				回答と同様						

下飯地域まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H24年度末現在）	進捗状況（H25年度末現在）	進捗状況（H26年度末現在）	進捗状況（H27年度末現在）	地区振興計画	H25当初予算	H26当初予算	H27当初予算	H28当初予算	事業完結分
H27	7	鹿島	地域活性化のための支所職員の現人数の確保について	行政改革推進課	<p>災害時の対応や地域のイベントについては、鹿島地域だけでなく他の地域でも同様の課題であり、防災サポーターの増員や、支所間の連携協力体制など全庁的な取組・支援体制をとって対応してきている。</p> <p>一方、通常の支所業務に関し、支所別に職員1人当たりの人口数をみると、鹿島地域は32～33人で、本土支所（150～280人）や鹿島の他の支所（38人～48人）と比較しても非常に少ない値となっている。</p> <p>鹿島支所も他の支所と同様の業務を抱えているが、取扱件数は少ない状況にあることから、業務量を勘案した職員配置数も念頭に置きつつ、他方、防災サポーターの増員配置など、災害対策等も考慮した配置にしたい。</p> <p>合併、10年経過し、様々な取り組みを進めてきているが、まだ、行財政改革を進めなければならない状況。職員数の適正化や人件費の削減というのは、まだ大きな課題である。災害時の対応も十分考慮しながら、市民への公共サービスが低下しないよう、進めてまいりたい。</p>				職員配置については、平成27年4月、8支所のうち唯一鹿島支所のみ減員はなかったが、平成28年4月からは、各支所の職員を1名ずつ減員したところである。今後は、飯はひとつ推進会議の提言も参考にしながら、災害対策等も考慮し、組織及び業務量に見合った職員配置に取り組んで参りたい。						